

ひだまり

桜が満開になったのは、4月下旬に入ってからでした。右の写真は4月22日に撮影したのですが、桜の向こうにはまだ雪が見えます。春の訪れと冬の終わりを一度に感じる、驚きの光景でした。4月の着任以来、驚きの連続であつという間に1か月が経ちました。

生徒・職員がランチルームで一緒にいただくおいしい給食。新しい先生たちが来たからと、BGMに五箇山民謡を流してくれ、温かい雰囲気とともに味わいました。会話からも、お祭りの準備や練習が始まっていることが分かり、それぞれが地元のお祭りを伝統として受け継ぎ、守っていることが伝わりました。あらためて、すてきな学校に赴任できた幸せをかみしめているところです。



「力を合わせて春支度」



今週4月28日には、「春支度」を全校生徒で行いました。雪囲いを取り外し、冬の間にとまったグラウンドの側溝から土砂をあげます。加えて、グラウンドで思いっきり活動できるように、まだ解けずに残っている雪のかたまりを崩します。

こうして、これまでもみんなで協力して五箇山の厳しい冬を越えてきたと思うと、平中生のたくましさを感じます。ゴールデンウィーク明けには、すっきり解けてくれていることを願っています。

